

第37回 海外子女文芸作品コンクール 募集要項

補習校

- 主催：公益財団法人 海外子女教育振興財団
- 後援予定：外務省・文部科学省・日本放送協会
- 協賛予定：（公財）JFE21世紀財団 東京海上日動火災保険（株）日販アイ・ピー・エス（株）
（一財）日本児童教育振興財団 （株）東京クレジットサービス
（株）読売新聞東京本社 クラーク記念国際高等学校

1. 応募資格

保護者の海外勤務等に伴い、現在海外で学んでいる日本の義務教育相当年齢の児童生徒
（2001年4月2日～2010年4月1日に生まれた者）

※相当学年が不明な場合は別紙「学年対照表」を参照ください。

2. テーマ並びに募集部門と点数

(1) テーマ：**海外生活を題材にしたものであれば自由です。**

(2) 募集部門と点数：

1) 作文・詩・短歌・俳句の4部門

2) 1人で何部門でも応募可能。但し、一人あたりの応募できる点数は以下の通り

作文	1人1点 小学生：2,000字以内（400字詰原稿用紙5枚以内） 中学生：3,200字以内（400字詰原稿用紙8枚以内）
詩	1人1点 小・中学生とも1,200字以内（400字詰原稿用紙3枚以内）
短歌	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用
俳句	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用

3. 募集期間

締切

6月25日（土）担任まで厳守

授業以外の時間で作成し、個人で参加する場合にもこの締切を守ってください。補習校が終り次第、集計を始めますので、当日の一時半以降の提出は受け付けられません。

4. 応募用紙

(1) 作文・詩

- ・用紙は市販の原稿用紙または当財団HPより原稿用紙をダウンロードしたものを使用し、タテ書きで書いてください。
- ・用紙は表面のみを使用し、裏面は使用しないでください。
- ・応募作品は、各人各部門ごとに用紙を別にし、1枚の原稿用紙に作文・詩を一緒に書かないでください。
- ・応募作品には、所定の応募票を作品ごとに作品右肩に貼付の上、平とじ（原稿用紙を広げて右肩を一箇所で綴じる）にしてください。

・用紙サイズは問いません。滞在国の一般的な用紙サイズで結構です。

- (2) 原稿用紙は市販のものでも良いし、学校で使用しているものをコピーして使用していただいても結構です。

5. 応募作品の提出方法について

提出は全て担任の先生にしてください。（個人参加の作品も含めて。）
質問等も学級担任の先生にしてください。学校から主催者に問い合わせます。

6. 応募上の注意事項

- (1) 応募作品は、応募者本人の創作によるものとします。
- (2) 応募作品は、応募者本人の自筆によるものとします。
- (3) 応募作品は、今回のコンクールのためのオリジナルなものに限ります。このコンクールの過去の応募作品や、他のコンクールや出版物で発表された作品、さらにそれらを書き直したものは認められません。
- (4) 応募作品は、返却しません。
- (5) 入選作品の著作権・出版権は、主催者に帰属します。

7. 審査基準

専門家により各作品の次の点に重点を置いて審査します。

- (1) 海外生活での新鮮な感動・実感や経験を踏まえたもので、適切な表現がなされた作品であること。

- (2) 年齢（学齢）にふさわしい作品であること。

8. 表彰

- (1) 各部門の優れた作品には、それぞれ文部科学大臣賞をはじめ、海外子女教育振興財団会長賞、日本放送協会賞、協賛者賞の各特別賞が授与され、そのほかに特選、優秀、佳作が選ばれます。ただし、できるだけ多くの児童生徒を顕彰する目的から、以前に文部科学大臣（奨励）賞または海外子女教育振興財団会長賞を受賞したことのある応募者の同じ部門でのそれぞれの賞の重複受賞はないものとします。
- (2) 入選者には、賞状が授与されるほか、優秀以上には記念楯と優秀作品集「地球に学ぶ」、佳作には記念メダルが贈られます。
- (3) 児童生徒数に比して多数の応募があり、かつ優秀な成績をあげた学校には、学校賞が授与され、賞状のほか副賞が贈られます。

9. 結果の発表

月刊「海外子女教育」誌上（2016年11月号予定）にて発表します。

10. 作品集の刊行

作品集「地球に学ぶ」（第37集）を刊行し、優秀作品を掲載します。

<別紙>

学年対照表・2016（平成28）年度

生年月日							応募票に記入する 日本の学年
2009年	(平成21年)	4月2日～	2010年	(平成22年)	4月1日まで	⇒	小学1年生
2008年	(平成20年)	4月2日～	2009年	(平成21年)	4月1日まで	⇒	小学2年生
2007年	(平成19年)	4月2日～	2008年	(平成20年)	4月1日まで	⇒	小学3年生
2006年	(平成18年)	4月2日～	2007年	(平成19年)	4月1日まで	⇒	小学4年生
2005年	(平成17年)	4月2日～	2006年	(平成18年)	4月1日まで	⇒	小学5年生
2004年	(平成16年)	4月2日～	2005年	(平成17年)	4月1日まで	⇒	小学6年生
2003年	(平成15年)	4月2日～	2004年	(平成16年)	4月1日まで	⇒	中学1年生
2002年	(平成14年)	4月2日～	2003年	(平成15年)	4月1日まで	⇒	中学2年生
2001年	(平成13年)	4月2日～	2002年	(平成14年)	4月1日まで	⇒	中学3年生